

「人生100年時代」  
「バラ折り」で高齢者を笑顔に



小野田 嘉子  
おのだ・よしこ  
[RBI FLOWER ART主宰]

R B iの由来は、R = Relax  
B = Brilliant、i = internalと  
いう意味から来ています。コン  
セプトは『内面から生まれる輝  
きは心身のリラックスを生む』  
です。ミッションは、バラ折り  
で『癒し』『寄り添う』『和ませ  
る』をみなさんに届けること。  
ビジョンは折り紙 = Origami  
を新しい形で世界に向けて提供  
していくこと、としています。

母が介護施設でお世話になっ  
た時に、折り紙で折った深紅の  
バラのブーケを持っていくと、  
居眠りしていた利用者様達が  
目を開きました。自分たちが  
昔、和裁、編み物など手仕事を  
したときを思い出し、語り出し

た光景を目にして、「折り紙に  
は素晴らしい効果がある」と実  
感しました。

ただ日本では、折り紙は幼少  
のころから慣れ親しんでいるた  
め、「たかが折り紙……」と思わ  
れがちです。しかし、外国人に  
はかなり魅力的なものであるこ  
とは実感しました。

それは、前職(東洋エンジニア  
リング)で勤続した40年間に、  
オイル&ガス、天然ガス分野の  
国際会議に併設する海外展示会  
出展の担当をした中で、人寄せ  
のために趣味の折り紙でくす玉  
を作り展示したところ、世界中  
の訪問客に注目された体験があ  
るからです。この時に、折り紙の  
魅力と可能性に着目しました。

そのような体験から定年退職  
後、自分が得意なことを仕事に  
して社会貢献をしたい思いが一  
致して「糊もハサミも使わず  
に、一枚の折り紙から一輪のバ  
ラを折る」技で2016年に起  
業しました。

なぜ、バラ折りのなか？ 私  
は折り紙の中でも立体的な折り

方が好きで、どういうものに取り  
組もうかを模索中にバラ折り  
に出会いました。

本を見てもかなり難しく折り  
方がわからず四苦八苦しました  
が、自分なりの折り方を加味し  
ていきました。独自の道具を使  
い、バラの花の形状を保つため  
に市販の折り紙ではなく、紙間  
屋で選んだ紙を裁断し、こだわ  
りの紙を使っているところにも  
特徴があります。

春日部在宅診療所ウエルネス  
の笹岡大史医師から「自然界に  
は存在しない青いバラの花言葉  
は『不可能』だったのが、品種  
改良後に『夢叶う』  
になった。バラ折  
りは患者さんを励  
まし、リハビリ  
テーションへの応  
用や、高齢者や障  
害者の就労支援の  
可能性を秘めてい  
る」と教えて頂き  
ました。現在心強  
いサポーターでも  
あります。

あります。



小野田さんが折ったバラのブーケ

商品として売れるクオリ  
ティーをマスターされた方を  
「バラ折りニスト®」と認定し、  
私の体験講座のアシスタントと  
して働いていただき、作品は商  
品として販売しています。特に  
高齢者のバラ折りニスト®には、  
介護施設やデイサービスのレク  
リエーションの指導者になって  
働いていただき、高齢者同士が  
刺激を与え相乗効果のあるメカ  
ニズムが出来上がってきました。

「人生100年時代」、バラ折  
りをツールに高齢者が高齢者を  
支援するメカニズムがもっと広  
まっていけばと考えています。